

第3期宮前区区民会議 第1回企画部会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成22年7月21日(水)18:00～20:00

場所：宮前区役所 保健所1階集団教育ホール

次 第

- 1 審議テーマ（案）の検討
- 2 その他

【配布資料】

別紙1 名簿

別紙2 フリーメモ

資料1 初期のスケジュール

資料2 審議テーマの絞込みイメージ

資料3 テーマ検討会 摘録

資料4 審議テーマ候補

第3期宮前区区民会議 名簿

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画						
1				平井 賞子	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2				田邊 保昭	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3				吉田 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4				久保 浩子	団体推薦	③子育て・教育	宮前区子ども・子育てネットワーク会議
5				豊島 このみ	団体推薦		宮前区民生委員・児童委員協議会
6				持田 正美	団体推薦		宮前区地域教育会議
7				河井 明子	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 みやまえ世話人会
8				谷山 安治	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
9				中村 富美和	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区文化協会
10				種村 恒夫	団体推薦	⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
11				手塚 百合子	団体推薦		宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
12				浦野 珠里	団体推薦	⑧地域特性	フロンタウンさぎぬま
13				岡田 亮介	団体推薦		宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」
14				藤田 信吾	団体推薦		宮前区まちづくり協議会
15				高橋 弘幸	公 募		
16				山下 浩	公 募		
17				小泉 博司	区長推薦		川崎市農業青年協議会（小泉農園）
18				佐藤 利枝	区長推薦		第2期区民会議 公園・地域づくり部会長
19				恒川 康夫	区長推薦		第2期区民会議 宮前区の宝さがし部会
20				直本 享子	区長推薦		神奈川県保護司会連合会事務局長

★……委員長 ☆……副委員長

◎……部会長 ○……部会メンバー

【参与】

市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

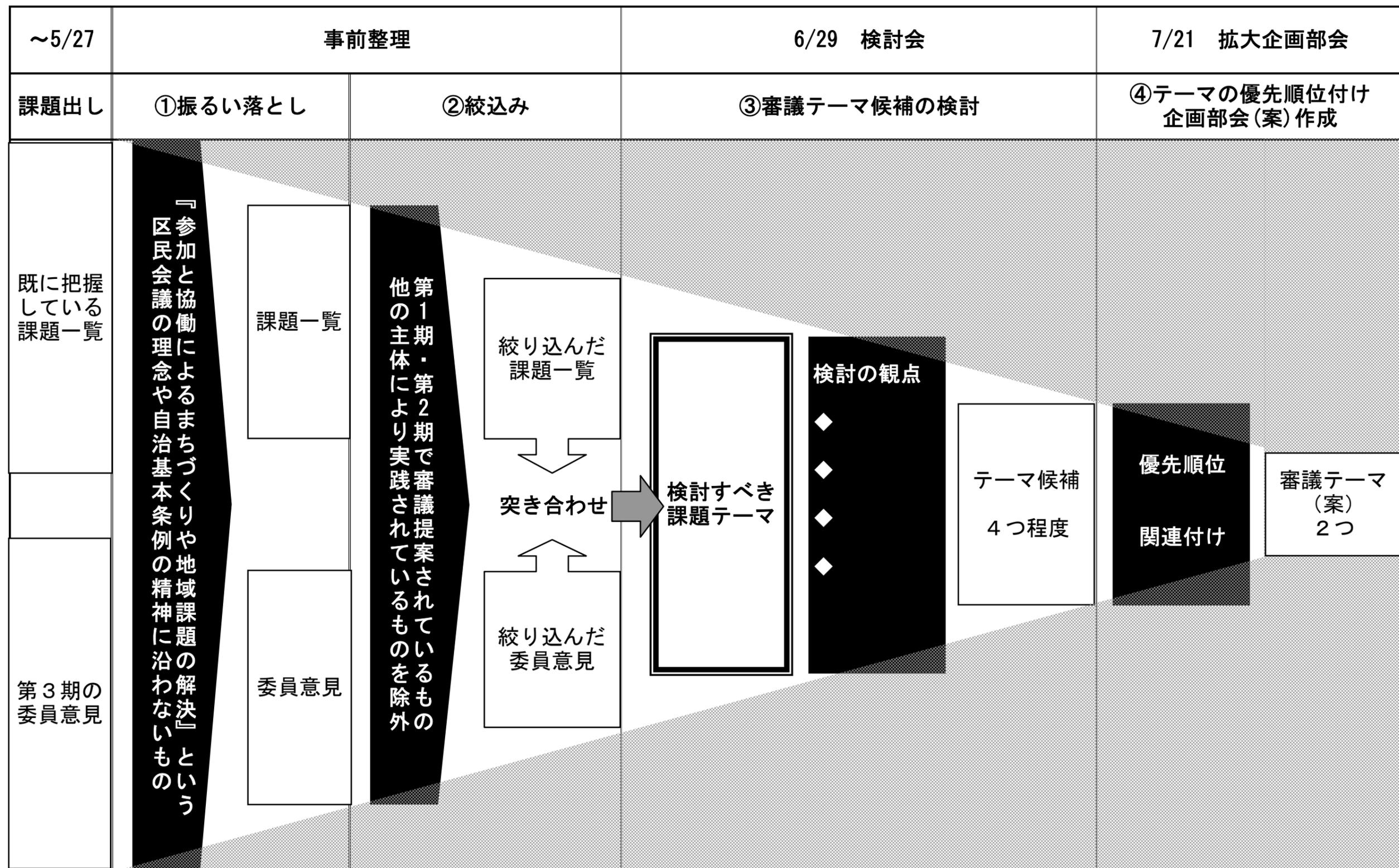
持田 文男

フリーメモ

第3期宮前区区民会議 初期のスケジュール

	5/11 打ち合わせ	5/27 全体会①	6/29 テーマ検討会	7/21 企画部会	8/3 全体会②
進行目安	<p>区民会議の概要 アイデア出しと意見交換①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区民会議の概要 ●任期2年間の流れ確認 ●審議テーマ決定までの進め方 ●各委員の自己紹介と意見交換 ●アイデア出し ●正副委員長候補の選任 <p>※意見持ち帰り 他委員の意見を参考に3つ程度に整理して全体会に持ち寄る</p>	<p>グループワークと意見交換②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委嘱 ●正副委員長選出 ●審議テーマを決めるためのグループワーク(2グループ) ●各グループ発表 ●全員で意見交換 ●6月～8月の日程確認 	<p>具体的な審議テーマ候補 テーマ選びの方向性確認・意見や課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●審議テーマ選びの方向性確認 ・区民会議で取り組むべきこと ・区民会議だからこそできること ・第3期メンバーだからこそ取り組めること ●既に把握された課題との突合 ●課題の分類と関連付け <p>※6月の検討会は参加者に制限はありません。ぜひみなさん御参加ください。</p>	<p>審議テーマ案づくり テーマの関連付け・優先順位付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各テーマ候補の優先順位付け・関連付け ●審議テーマ・企画部会案づくり 	<p>審議テーマ決定 専門部会発足・プレ部会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●審議テーマ決定 ●所属部会決定 ●プレ部会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・審議テーマについて自由に意見交換 ・部会日程決め ●11月の全体会日程決め

審議テーマの絞り込みイメージ



第3期宮前区区民会議 テーマ検討会 摘録

□日 時 平成22年6月29日(火) 18:00~20:00

□会 場 宮前区役所 4階 第2会議室

□参加者 委員 山下委員長、恒川副委員長、直本副委員長、
浦野委員、岡田委員、河井委員、久保委員、佐藤委員、高橋委員、
田邊委員、谷山委員、豊島委員、手塚委員、中村委員、平井委員、
藤田委員、持田委員、吉田委員
事務局 岩佐企画課長、豊田担当係長、鈴木職員、佐谷(コンサルタント)

1 審議テーマの絞り込み

※資料1に沿って、テーマの事前整理、絞り込みを行うことについて山下委員長が説明

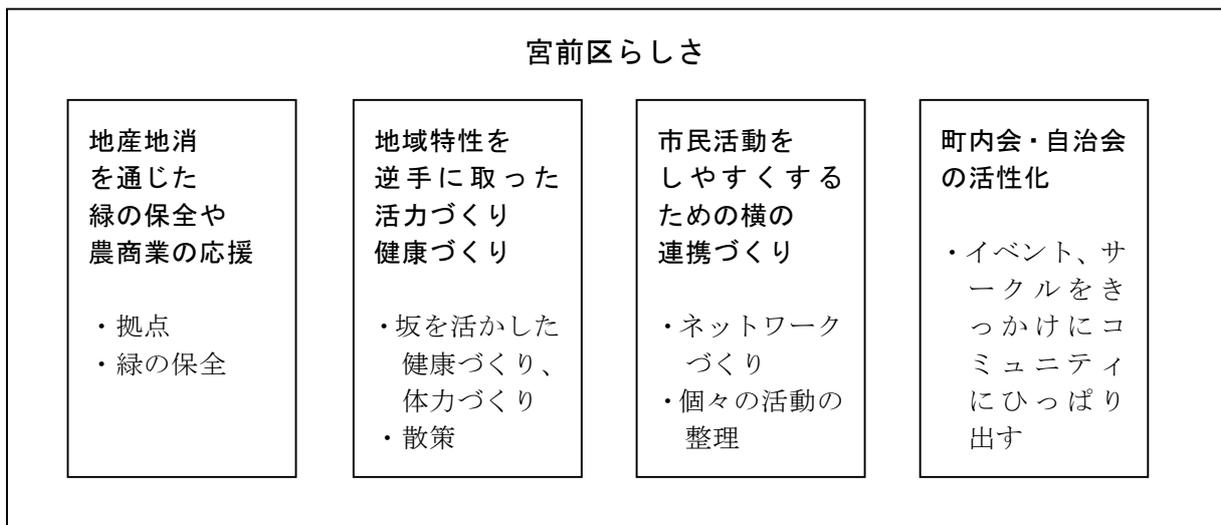
※資料2に沿って、テーマの絞り込みイメージについて直本副委員長が説明

※資料2、3、4に沿って、事前整理と具体的な絞り込みの手法について事務局が説明

※残った課題から見えてきたことについて、恒川副委員長がまとめの説明

■テーマの絞り込みについて

※意見交換の結果から次のとおりテーマの絞り込みを行った。



■意見交換

恒川 区民会議でできること、できないことを考えた場合、できることはソフトに関する内容で、その中でも「ご近所づきあい」がテーマになると感じた。コミュニティづくりが大きなテーマで、具体的な地域課題は宮前区らしさや地域特性をどう活かすか、活力づくり、人材づくり、緑を活かすという内容になると思う。宮前区は、魅力のあるまちだと思うが、魅力を聞かれたときに答えられない。それを踏まえ、今後取り組む必要がある。そのためには宮前地区の歴史(向丘・宮前地区の歴史)、平瀬川沿いや影向寺など野川の歴史、東急田園都市線の急速な発展、といった地域特性をどう活かしていくかということが地域コミュニティの基本になっていくと思う。

山下 地域コミュニティについては、10年間のスパンで考えていかななくてはいけないとい

第3期宮前区区民会議 テーマ検討会 摘録

ったご意見や、コミュニティに直結する意見も出ていた。地域コミュニティが重要になってくると思う。第3期でも大きなテーマとして取り上げたほうがよいと思う。

恒川 「明日のコミュニティづくり」というのは個人的には大きなスパンで考えたほうがよいと思っている。「地域コミュニティ」については第3期のテーマの核になると思っている。

久保 子育てについて、区民会議で提案できたことで行政と市民活動グループが協働できた。第2期でも区民会議の活動に賛同してくれる地域の人が多かったことで、先細りになる市民活動を行政とやることで先につながることを感じた。行政の意識も変わり、自分たちで解決しようということの後押ししてくれたことが成果になっていると思う。コミュニティに追加して、自分たちのことは自分たちでできるというメッセージを伝えられるとよい。若い世代はなんでもあるところに頼ってしまうので、自分の力で変えていく力が根付かない。

山下 コミュニティは現実的な社会を考えて見ればよいと思う。家族をもととし、隣近所をはじめとし、コミュニティがつくられていった。昔の村は家族から地域社会ができてきた。そういうことから考えると、私たちが住んでいる地域を良くすることが地域コミュニティを良くすることはではないか。

河井 宝を探すだけでなく、つくりだしていく。自分たちも対外的にも分かってもらえるものを作っていく市民活動が重要である。宮前区を良くしていくために、行政、事業者、市民が活動する必要がある。花と緑を道具にコミュニティを良くしていくための活動をしている。そういった活動が盛んになれば、宮前区はもっと良くなっていくのではないかと思う。

恒川 ご近所の顔も分からない中ではコミュニティはつukれないと思う。

佐藤 高齢者になったときに助け合いができるコミュニティができるとよい。

河井 庭を作るという楽しいことでコミュニティが広がっている。以前住んでいた場所では庭づくりを周辺の人がやっていないで、コミュニティがなく、開発問題をきっかけとしてコミュニティができたが、そうではなく楽しいことでコミュニティができるとよい。

佐藤 熱心な人だけでなく、サイレントマジョリティの意見も取り入れたほうがよい。熱心な人はいろいろな場で役割が重なっている。

恒川 公園の掃除ひとつをとっても誰かがやっているよということが多すぎる。出てこない人を、掃除をきっかけにいかに参加させるか。行政と協働でどのようにしかけていくかを考えればよいのではないか。

例えば、鷺沼などで道の駅のような場所をつくり、年に何回か宮前区の食材を販売するイベントをやったら面白いのではないか。それがきっかけで宮前区を見直し、地産地消につながっていくか。また人が集まれば、いろんな発展があるのではないか。

地域特性を活かす、担い手づくり、緑を活かすなどがテーマになっていくのではないか。担い手づくり、きっかけづくりなどはこれまでやってきた子育てや高齢者などの様々な問題を包括するのではないか。

佐藤 区外の人には坂が多いと言われる。今までは高齢者の目線で坂を考えていたが、ここからのスタートでは遅い。高齢者になるまでに体力をつくるべく、区民が健康を高め

第3期宮前区区民会議 テーマ検討会 摘録

るようなことを考えてはどうか。

恒川 高齢者のテーマとしては、これまでサポートすることばかりだった。第3期で健康づくり、活力づくりをテーマにするなら、坂の名称を見直したり、区の木である桜を見に行ったりするような活動につなげてはどうか。

浦野 地域特性にテーマに絞ったほうがよいと思う。コミュニティは、つくろうとしてできるものではなく、何かの目的のために取り組むことでできるものである。宮前区らしさの特性を活かす取り組みとして、市民が取り組むものはいくつかに分かれると思う。その目標に向かったときに初めてコミュニティができると思う。何をテーマにしても、最終的にはコミュニティにつながるのではないか。コミュニティにこだわらずテーマを決めてはどうか。

手塚 高齢者とのどのように付き合うかが課題となっている。どうしても家の中までは入っていけず、外だけの付き合いになってしまう。回覧板の配布のときに相手の顔を見て、手渡ししたり、声かけしたりしようとしている。

直本 様々な活動をしているが、内容が重なってやっていることが多い。区民会議の場でそれを集約して、既にやっている活動団体があれば一緒にやることができる。横の連携ができるとうい。区民会議として活動内容を整理することも必要ではないか。

持田 活動団体の専門性を取り払ってテーマを決め、進めていくときに自分の専門分野から意見を出してはどうか。コミュニティのふれあいや助け合いを地域で見ている、親がそういうことを教えていない。そこのあたりを踏まえて、コミュニティを考えられるとうい。

藤田 地域に出てきていない人に入ってもらいたい。そのような人が出てくるのは、町内会のイベントである。地元でお祭りをやる時は、出店などを全ての町会に担当を割り振っている。そのあたりから、町内会・自治会の活性化ができないかと思っている。

山下 町内会や自治会の仕事として高齢者の見守り活動があるが、そのような高齢者をまちに引っ張り出すことも重要である。そのために、サークル活動の会をつくったら、みんな出てくるようになった。そういう活動が増えて、地域の人のあいさつも増えた。

中村 区民祭があるが、場所が遠い人はなかなか参加できない。文化協会でも一般の市民が参加できる講習会を開催しているが、限られた世帯が多く、広がりが無い。

高橋 区民として活動団体がよく分からない。様々な活動団体を結びつけていくことが必要だと思う。また、情報発信については、とにかく市民に伝わらなければ意味がない。情報や発信についてテーマとして考えていきたい。

平井 発信を少なくした方がよいと思う。たくさん回覧があると、誰も読まなくなってしまう。例えば、回覧板が1つしかなければちゃんと見るだろうし、10枚あれば見ない。情報をせっかく発信しているのにうまく伝わらない。うまく区民会議を使っていく、いかに情報を伝えるかを考える必要がある。

高橋 商店街は市民になりえないので、商店や企業が参加できるような投げかけがあってもいいと思う。

谷山 坂を登りきると、どのくらいのカロリーになるかが分かるとうい。その地域に商店街があれば、宅配サービスをし、散歩して買い物をすると、サービスを受けられるなど

第3期宮前区区民会議 テーマ検討会 摘録

できると良い。名所や花、散策ルート、平瀬川の流域だけでなく、全体でひとつのテーマがあればいいと思う。

浦野 イベントは年に何回かの実施で参加の機会に限られる。年間を通して、自分で目標設定をすれば、いつでもできるイベントがあるとよい。例えば、道の駅が3箇所あって、その駅の間を移動すると消費カロリーが分かり、スタンプが押しもらえるといったようなものができるとよい。

直本 四国では88ヶ所のお遍路があるが、宮前区でも同じような設定をしてもよいのではないか。

浦野 行くところに興味があるものでなければいけない。そんなにお金をかけなくても、利用できるサービス等が必ず拠点にあり、マップやカルタが置いてあるとよい。

佐藤 緑はなくなっていて、農地くらいしかない状況である。今ある農地だけで宮前区民に対し、地産地消ができるのか。また、実際に道の駅をつくって、宮前の農産物が販売できるのかどうか。地産地消を行うことで緑の保全につながるのであれば、取り組みたい内容である。

吉田 宮前区は人口が急増し、マンションや住宅が多くなった。地域コミュニティの再構築、地域特性を活かすといったあたりが重要ではないか。

河井 緑を残すためには地産地消を進めることが必要であって、公園などを活用して地産地消の反応をみるような地道な活動を行っている。現在ある拠点を利用して、宮前区らしい野菜等をアピールできるといい。

田邊 年齢の差による情報発信を考慮し、情報発信を専門とする委員もいるため、それを活用したほうがよい。

宮前区は高齢者が多いが、若い人はあまりいないのではないか。若い人の意見を聞いて、情報を収集することも必要ではないかと思っている。

佐藤 みやまえぼ一たろうの中で宮前区の情報としてアクセス数が高いものがあると思うが、宮前区に不足している情報、興味を持たれている情報について教えてほしい。

持田 回覧板を回覧することで中身を見てもらうことも重要だが、隣の人に回覧板を持って行って一言交わすという「つながり」が大事である。必要なコミュニケーションだと思うので、そのあたりを考慮しながらできるとよい。

久保 市民活動にどのように参加するかということを知ったら、mixiなどいろいろやっても、結局は口コミが強いようだ。

宮前区は地区によって異なる。地区特性を活かしたものをやっていきたい。人材づくりにおいても、地域特性を活かし、その地域で活動している団体を発掘し、そこが拠点になるような形で提案ができるとよい。市民活動をやりやすくするために。

山下 宮前区の人には宮前区の中で買い物をしないと、商店街は活性化しない。山坂が多いことも地区の特性である。坂の名前等を検討してもいいのではないか。

直本 意見の中には方法に関する内容についてもたくさんあったので、少しテーマを絞って、みなさんの意見を組み込んでいくことを検討したほうがよい。

恒川 具体的なテーマとしては、緑を活かす、健康づくり、イベント等の実施などの拠点づくり、情報発信・ネットワークが主に出てきていると思うが、どうか。

第3期宮前区区民会議 テーマ検討会 摘録

佐藤 「横の連携」と「市民活動をやりやすく」ということが一緒になるのではないか。

直本 情報発信はそれだけを単独でやるものではない。他のテーマの中でどう関連して行くかだと思う。

佐藤 宮前区らしさの中に緑が残っているということから地産地消があり、坂があって健康づくりがあるという整理になるのではないか。

山下 審議テーマとして、宮前区らしさの中に緑・地産地消、健康づくり、横の連携（ネットワークづくり）、町内会・自治会の活性化の4つのテーマがあるという整理をする。4つのテーマをもとにして、企画部会である程度のテーマに絞り、第2回全体会で発表したい。

2 その他

■次回日程

事務局より拡大企画部会の日程を7月21日（水）に開催することを報告した。

（以上）

第3期宮前区区民会議 審議テーマ候補

地産地消を通じた 緑の保全や農商業の応援	地域特性を逆手にとった 活力づくり、健康づくり	市民活動をしやすくするための 横の連携づくり	町内会・自治会の活性化